

## 事前評価調書

I 事業概要																																													
事業名	治山事業（水源地域整備事業）																																												
地区名	よこかわいり 横川入																																												
事業箇所	とよたしいなぶちようよこかわいり 豊田市稲武町横川入 地内																																												
事業のあらまし	当該溪流において、溪流の荒廃が進み、山地災害の危険性が高い。このため、地元からの要望と荒廃状況を勘案して、谷止工及び森林整備を実施する。																																												
事業目標	【達成（主要）目標】 荒廃溪流を整備し、山地災害の未然防止を図る。																																												
事業費	事業費		内訳																																										
	4.0億円		■工事費 4.0億円、□用補費、□その他																																										
事業期間	採択予定年度	2025年度	着工予定年度	2026年度	完成予定年度	2030年度																																							
事業内容	谷止工10箇所施工し、本数調整伐82haを実施する。																																												
II 評価																																													
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では溪流の荒廃が進み、山地災害の発生が懸念されている。地元からは治山事業による荒廃溪流の整備等が強く望まれている。 また、「費用便益分析マニュアル」に基づき算定したB/Cは5.4で1.0を超えている。																																											
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。																																										
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>工事期間</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷止工</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td>1.0</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>0.7</td> <td>0.5</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table>								2026	2027	2028	2029	2030	合計	工種 区分	工事期間	←				→		谷止工	←				→		本数調整伐	←				→		事業費（億円）		1.0	0.8	1.0	0.7	0.5	4.0
			2026	2027	2028	2029	2030	合計																																					
工種 区分	工事期間	←				→																																							
	谷止工	←				→																																							
	本数調整伐	←				→																																							
事業費（億円）		1.0	0.8	1.0	0.7	0.5	4.0																																						
2) 地元の合意形成	地元自治区長を通じて土地所有者から要望が出されており、地元への説明を経て地元の了解が得られている。																																												
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 事業計画に無理はなく、地元の了解を得ており、事業の実効性が期待できるため。																																											

Ⅲ 対応方針	
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>治山施工地周辺の溪流及び山腹の状況から事業効果を評価する。</p>	